

# 地方創生

# アグリビジネスプラン コンテスト2017

## 本コンテストの目的

農林水産業（畜産業を含む）・食品加工分野において創業と新事業の展開を促進し、地域経済のさらなる発展と地方創生への寄与を目的として、公益財団法人日本財団の「わがまち基金」の助成により実施したものです。



主催：鹿児島相互信用金庫

共催：日本政策金融公庫

助成：公益財団法人 日本財団

後援：鹿児島市、鹿児島県教育委員会

## 1 応募テーマ

- ① 農林水産業（畜産業を含む）およびそれらに関連する事業で、地域を活性化する新たなビジネスプラン
- ② 食および食品加工に関する新たな取り組み（商品化、流通・販売、6次産業化など）のアイデアやビジネスプラン

## 2 応募対象者

### ① 一般ビジネス部門

- ① 鹿児島県内で創業を目指す方
- ② 鹿児島県内に事業所を置いて、新たな取り組みを予定している法人、個人事業者、グループ
- ③ 創業、あるいは新たな取り組み開始後3年以内で、鹿児島県内に事業所を置いている法人、個人事業者、グループ

### ② アカデミック部門

- ① 鹿児島県内の高校、短期大学、大学・大学院、高等専門学校、農業大学校などに在籍している学生、教職員の方、グループ

## 3 選考基準

- ① 新規性・独創性
- ② 市場性・成長性
- ③ 競争優位性
- ④ 実現可能性
- ⑤ 地域経済への波及効果・社会貢献度

## 4 表彰内容と商品

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| ・最優秀賞（全ての応募者の中から1件） | 表彰状と副賞100万円 |
| ・優秀賞（部門ごとに各1件）      | 表彰状と副賞30万円  |
| ・特別賞（部門ごとに各1件）      | 表彰状と副賞10万円  |
| ・奨励賞（全ての応募者の中から1件）  | 表彰状と副賞5万円   |

## 《最優秀賞》 有限会社エール（指宿市開聞十町129-2）

### ・オクラビューティープロジェクト

地元の指宿市は、オクラ生産量日本一であるが、産地が故の問題として、流通されない規格外品や畑で焼却処分されるものも多量に発生する。こうした未活用のオクラを原料に、その機能性と有効性を新たな価値として美と健康の商品を製造・販売する。

## 《優秀賞》

### 【アカデミック部門】 山元 健一

#### ・国産アボカドの栽培とそれを活用した「アボカド県鹿児島」の実現

国内のアボカドの消費量は年々増加しているが、その99.9%以上は輸入品であり、高品質で安心・安全な国産アボカドが待望されている。希少な国産アボカドを本格的に栽培し、鹿児島県の食や観光と組み合わせることで鹿児島の魅力を高め、経済の発展と豊かな暮らしを実現する。

### 【一般ビジネス部門】 有限会社勝目製茶園（曾於市末吉町岩崎2855-6）

#### ・鹿児島農業開発プロジェクト ～強力な6次化プロダクトアウト戦略～

「農閑期の農地活用」と「製茶機械の有効利用」を目指して、新たな有機JAS認証野菜青汁の原料栽培に挑戦する。これまで大麦若葉の栽培・加工を行ったノウハウを活かし、協力会社や地域の農業コミュニティで検討を重ね、高付加価値の加工農産物の製造・販売を目指す。

## 《特別賞》

### 【アカデミック部門】 鹿児島県立曾於高等学校 商業科

#### ・郷土菓子「あくまき」を題材とした新商品開発

郷土菓子「あくまき」の魅力をリビルド（再構築）し、商品の訴求力を高めることで、特に若い人々の需要を喚起し、共同開発する地元企業への貢献に繋げたい。また、「あくまき」は歴史ある郷土菓子であり、特に西郷隆盛との関わりをアピールすることで、鹿児島の観光資源としての可能性を追求する。

### 【一般ビジネス部門】 まさき織物（鹿児島市新栄町17-22）

#### ・復刻 さつまの綿プロジェクト

鹿児島の伝統工芸品である大島紬の製造技術を活かし、鹿児島が発祥の地である綿紡績を綿花の栽培から紡績、染色、機織までの工程を一貫して行う。日本製の綿生地を作る事業者は極めて稀であり、「さつまの綿」ブランドとして付加価値を高め、全国に発信していく。

## 《奨励賞》 落合 新太郎

#### ・耕作放棄地を活用した低コスト牛肉生産

繁殖・飼育牛農家にとって飼料費の低減および労働力確保は大きな問題である。耕作放棄地に放牧することで、飼料費や労働費を削減し、農家の所得拡大と近年問題となっている耕作放棄地の解消を目指す。あわせて放牧性に優れた遺伝資源の発掘および種雄牛の造成にも取り組んでいく。

